

安全データシート

作成日：2019年05月27日
改訂日：2022年12月12日

1. 製品及び会社情報

製品名：モトヤ 速乾洗浄剤（ハード） 用途：速乾性洗浄剤
会社名：株式会社モトヤ 住所：大阪市北区紅梅町2-8 担当：大阪営業部特販課
電話番号：06-6358-9131（緊急連絡先） FAX番号：06-6358-9130

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 引火性液体/区分2
健康有害性 急性毒性（経口）/区分4 皮膚腐食性・刺激性/区分3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性/区分1 生殖毒性/区分2
特定標的臓器（単回ばく露）/区分3 誤えん有害性/区分1
環境有害性 水生環境有害性（急性）/区分2 水生環境有害性（慢性）/区分2
*上記で記載のない危険有害性項目は「区分に該当しない」または「分類できない」です。

GHS ラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報：引火性の高い液体及び蒸気 飲み込むと有害
軽度の皮膚刺激 重篤な眼の損傷
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
呼吸器への刺激のおそれまたは眠気またはめまいのおそれ
飲み込んで気道に進入すると生命に危険のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き 安全対策 容器を密閉しておくこと。
熱・火花・高温物体のような着火源から遠ざけること。
保護手袋・保護眼鏡・保護マスクを着用すること。
取扱後は手をよく洗うこと。 ミスト・蒸気を吸入しないこと。
環境への放出を避けること。
応急措置 眼に入った場合は多量の水で15分以上洗い、眼科の手当てを受ける。
飲み込んだ場合は水でよく口の中を洗浄し直ちに医師の手当てを受ける。

改訂日：2021.10.22

皮膚に付着した場合は直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部を石鹼水で洗浄し多量の水で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた場合は医師の手当てを受ける。
 保管 直射日光を避け、換気の良い場所で、施錠をして保管すること。
 廃棄 内容物や容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名	含有量 (%)	化学式	CAS No
メチルシクロヘキサン*	35~55	C ₇ H ₁₄	108-87-2
エステル系溶剤	10~30	-	-
ノルマルプロピルアルコール*	10~30	C ₃ H ₈ O	71-23-8

*労働安全衛生法：表示・通知対象物質 毒劇物法の該否：該当しない

4. 応急措置

吸入した場合：大量に吸入したら直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
 体を毛布等で覆い保温して安静に務め、速やかに医師の手当てを受ける。
 皮膚に付着した場合：直ちに水・温水等で洗い流した後、石鹼でよく洗い落とす。
 もし皮膚に炎症を生じた場合は医師の手当てを受ける。
 目に入った場合：直ちに清浄な流水で15分以上洗眼し眼科医の手当てを受ける。
 飲み込んだ場合：水で口内を洗浄する。
 可能であれば喉に指を差し込んで吐き出させ直ちに医師の手当てを受ける。
 応急措置をする者の保護：救済者は保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤：泡、粉末、炭酸ガス
 使ってはならない消火剤：棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
 特定の消火方法：火元への燃焼源を断ち消火剤を用いて風上より消火する。
 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移し周囲の設備等には散水し冷却。
 消火を行う者の保護：消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業には、必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。
 必要に応じた換気を確保する。
 環境に対する注意事項：漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
 除去方法：少量の場合はウエス等で拭き取り、密閉できる空容器に回収する。
 多量の場合は盛土等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
 二次災害の防止策：付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。
 床を濡れた状態で放置すると滑りやすく、スリップ事故の原因となるため注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い

技術的対策：取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設置する。

注意事項：火気注意 安全取扱い注意事項：作業場の換気を十分に行う。

保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。

保管 適切な保管条件：屋内の通気のよい場所で容器を密閉し保管し、火気熱源から遠ざける。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：屋内作業所で使用の場合は発生源の密閉化又は全体換気装置を設置する。

管理濃度：設定されていない

許容濃度：メチルシクロヘキサンの数値 400ppm：日本産業衛生学会（2005 年度版）

ノルマルプロピルアルコールの数値 100ppm：ACGIH TLV-TWA（2009）

呼吸器用の保護具：必要により有機溶剤用防毒マスク等を使用する。

手の保護具：ゴム手袋等耐油性の保護手袋を着用する。

眼の保護具：ゴーグル型、全面型等の保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具：帯電防止性能を有する長袖保護衣及び安全靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質 物理的状态

形状：液体 色：無色透明 臭い：わずかに固有の臭い pH：データなし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点、初溜点、沸騰範囲：90～101℃ 分解温度：データなし 引火点：データなし（計算値約 5.9℃）

発火点：データなし 蒸気圧：データなし 比重：0.84 溶解性：水、油に一部溶解

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の保管取扱い条件では安定。 反応性：データなし

混触危険物質：強酸化剤 危険有害な分解性生物：データなし

11. 有害情報：メチルシクロヘキサンの情報

急性毒性 経口：ウサギ LDLo 4000-4500mg/kg ラット LD50 >3200mg/kg

マウス LD50 1200mg/kg より区分 4

皮膚腐食性/刺激性：RTECS（2005）のウサギの皮膚に適用で軽度な刺激

が認められたことから区分 3

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：ウサギの眼に適応した試験において軽度な刺激性が認められたことから区分 2B

特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：マウスを用いた吸入暴露試験において腹臥位が認められた、並びにウサギを用いた吸入暴露試験において麻酔作用が認められたことから区分 3

誤えん有害性：炭化水素であって、かつ動粘性率が 20℃で約 0.95mm²/s であり 40℃での動粘性率は 20.5mm²/s 以下であると考えられることから区分 1

有害情報：ノルマルプロピルアルコールの情報

急性毒性 経口：ラット LD50 値=1900mg/kg (ACGIH 2004) より区分 4

経皮：ウサギ LD50 値 4060mg (ACGIH 2007) より区分外

吸入：分類できない

皮膚腐食/刺激性：ウサギを用いた試験で極めて軽度な刺激性か刺激性なしの報告

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：ウサギの眼に適用した試験で重度の結膜炎、虹彩炎、角膜混濁および潰瘍形成が認められたとの報告より区分 1

生殖毒性：ラットを用い、雄は 6 週間吸入ばく露後に非ばく露の雌と交配、雌は妊娠一日目～9 日目に吸入ばく露を行った試験において、母動物の体重増加抑制や摂取量の減少など一般毒性の発現用量で、雄の生殖能低下が報告されている事から区分 2

特定標的臓器毒性 (単回曝露)：マウスで吸入ばく露により深い麻酔を起こしたとの報告があり、ウサギで経口投与による麻酔作用の ED50 値は 1440mg/kgbw との記載もある。区分 3

特定標的臓器毒性 (反復曝露)：データ不足。なおラットに 13 週間あるいは一年半に及ぶ経口ばく露により、肝臓で脂肪変性、壊死、繊維化など骨髄の造血実質過形成などが報告されている。分類できない

誤えん有害性:3以上 13 を超えない炭素原子で構成された一級のノルマルアルコールであることから、国連 GHS のくぶん 2 に該当するが、区分 1 を示すデータはなく、区分 2 を使用しないガイダンス文書に従った。分類できない

化学名	メチルシクロヘキサン	ノルマルプロピルアルコール
急性毒性 (経口)	区分 4	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分 3	区分外
眼に対する重篤な損傷/眼刺激	区分 2B	区分 1
生殖毒性		区分 2
特定標的臓器・全身毒性 (単回曝露)	区分 3	区分 3
特定標的臓器・全身毒性 (反復曝露)		分類できない
誤えん有害性	区分 1	分類できない

12. 環境影響情報：メチルシクロヘキサンの情報

水生環境の急性有害性：甲殻類 (ブラウンシュリンプ) の 96 時間 LC50=3300 μg/L から区分 2。

水生環境の慢性有毒性：急性毒性が区分 2、生物蓄積性が低いものの (BCF=321) 急速分解生がない (BOD による分解度：0%) ことから区分 2

環境影響情報：ノルマルプロピルアルコールの情報

水性環境急性有害性：甲殻類での 48 時間 LC50=3025mg/L である。区分外

水性環境有慢性害性 (長期間) 急性毒性区分外であり、難水溶性ではない。区分外

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

汚染容器・包装 : 同上

14. 輸送上の注意

特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器に破損、腐食、漏れ等のないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法分類 : 危険物 第4類第1石油類 (非水溶性液体)

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則 : 該当しない 有機溶剤中毒予防規則 : 該当しない

表示・通知対象物質 : 該当 No.494 アルル^oル^oル^o No.576 矽^oカ^oハ^oキ^o

化学物質管理促進法 (P R T R法) : 該当しない 毒物及び劇物取締法 : 該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 特別管理産業廃棄物 (廃油)

16. その他情報 参考資料

IARC 45 (1989) HSDB (2005) Patty (4th, 1994) (5th, 2001)

ACGIH (7th, 2001, 2004, 2007) RTECS (2002) HSFS (2002)

SITTIG (4th, 2002) EHC 102 (1990) IUCL ID (2000) ICSC(J) (1997) ACQUIRE (2003)

既存化学物質安全性データ 産衛学会勧告 (1993)

安全データシートの作成資料 JIS Z 7253 : 2012

製品安全データシート作成指針 (日本化学工業会)

独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果データベース

消防法関係法令集 社団法人 大阪市防火管理協会

JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法 (日本規格協会)

JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく危険有害性情報の伝達方法 (日本規格協会)

★この「安全データシート (SDS)」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。

本製品を取り扱う場合はこの記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した適切な処置を講じて下さい。本データシートは、安全や品質の保証書ではありません。

★この「安全データシート (SDS)」は JIS Z 7252 / 7253 : 2019 に基づいて作成したものです。